

**2020年度事業報告書
及び附属明細書**

自 2020(令和2)年4月 1日
至 2021(令和3)年3月31日

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2
公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

目次

I	概要	1
II	公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」	2
	1. 楽器の保全	2
	2. 楽器の貸与	2
	3. 演奏会の開催	8
	4. 音楽文化振興・普及のための助成	13
	5. 広報活動	15
III	総務	20
	1. 役員の変動	20
	2. 理事会	20
	3. 評議員会	20
	4. 監事会	21
	5. 評議員選任委員会	21
	6. 登記事項	21
	7. 主務大臣(内閣府)への届出等	21
	8. 外部監査の実施	21
	9. 広報活動「ランチタイムコンサート」の開催	22
	10. 事務局	23

[巻末別紙]

1.	理事・監事・評議員名簿	24
2.	委員名簿	25
3.	保有楽器の概要	26
4.	楽器名と被貸与者一覧	31

I 概 要

日本音楽財団は、1974年3月に音楽文化の振興と普及に寄与することを目的として設立され、2012年4月に公益財団法人に移行してからは、公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」の下に、1.楽器の保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、4.音楽文化振興・普及のための助成の4つの柱を置いて事業を推進している。

2021年3月末現在、世界最高クラスの弦楽器を21挺(ストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺、ガールネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺)を保有している。

2020年度は世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大により、事業実施には様々な困難が生じたため、新しい事業形態を模索しながらの実施となった。

すべての事業は、日本財団の助成金を受けて下記のとおり実施した。

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

当財団の指定楽器商で定期保守を実施した。

(2) 楽器への保険の付保

万が一の事故に備え、保有する21挺の弦楽器には、日本の保険会社2社に保険を付保した。

(3) ATA カルネ

楽器を国外へ持ち出す際には、必ず海外の税関で免税扱いの一時輸入通関ができるATAカルネを携帯させている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により渡航が制限されていたため、ATAカルネの有効期限(1年)内に日本への再輸入が困難な楽器が出たため、貸与を一時中断して再輸入(米国)やリプレースメントカルネ発給等により対応した。

(4) 保有楽器に関する故事来歴の取りまとめ

保有する弦楽器21挺について故事来歴等をまとめ、楽器の写真と共に1冊の図録にまとめた。

2. 楽器の貸与

保有する21挺の楽器は、国際的な活躍を目指し、将来性が見込まれる若手演奏家に無償で貸与した。本年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響で従来の演奏活動が制限された。

3. 演奏会の開催

本年度は、①演奏会の定期開催、②日本オーケストラ連盟との共同事業、③新しいファン層の拡大を目的とした演奏会、④若手育成を目的とした演奏会の4つの柱の下に12公演を予定したが、8公演が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催中止となり、4公演の実施となった。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

事業運営委員会で11事業が採択されたが、年度内の実施事業が5件、新型コロナウイルス感染症拡大により来年度へ延期される事業が3件、中止事業が3件となったため、本年度の支援は計8事業となった。

Ⅱ 公益目的事業

「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

保有する 21 挺の楽器の修理、調整等については、ストラディヴァリウス等の名器の取扱いに慣れている楽器商を指定し実施しており、各被貸与者には、年 4 回の当財団指定楽器商での定期保守を義務付けている。修理費用は当財団が全て負担することで、楽器の修理・調整に関する記録は全て保管し、楽器の状態把握に努めている。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う世界的な渡航制限により各楽器の定期保守は 2 回程度となった。

被貸与者は国際的な活動が多いことから、ワシントン条約・CITES (Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora: 絶滅の恐れのある野生動植物の国際間取引規制条約) の規制によりアメリカ合衆国での通関ができない事例があるため、すべての保有楽器に対して、当財団の指定楽器商よりワシントン条約・CITES 適用除外証明書 (Declaration of Materials) を発行し、被貸与者には楽器と共に常に携帯することを義務付けている。

保有する楽器は製作後約 300 年が経過し大規模な修理が必要な楽器が出てきていることから、これに対応するために特定費用準備資金 (大規模楽器修理) を積立てている。

(2) 楽器への保険の付保

楽器への保険については、楽器管理者として当財団が全額を支払っている。本年度も東京海上日動火災保険㈱と三井住友海上火災保険㈱の 2 社に楽器保険を付保した。

(3) ATA カルネ*

被貸与者等が保有楽器を国外へ持ち出す際には、ATA カルネを必ず携帯させ、ATA カルネを使用して通関できない国への楽器の持ち込みを禁止している。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い世界的な渡航制限があったため、多くの演奏家は 1 年内の ATA カルネ更新のための来日ができなかった。そのため、各カルネの入国先の税関においての期間延長の手続き、またはリプレースメントカルネ発給で期間延長を行い対応した。しかし、米国においては自国発給以外のカルネについては特別措置が講じられていなかったため、日本から米国への渡航が可能になった 2020 年 9 月末に楽器貸与を一時中断して、米国在住の演奏家に貸与していた楽器 5 挺を財団職員が渡米し日本に持ち帰った。

*「物品の一時輸入のための通関手帳に関する条約 (ATA 条約)」に基づく一時免税通関手帳。

国外へ一時的に物品を持ち込む場合、税関で手軽に「免税扱いの一時輸入通関」ができるほか、外国への輸入税の支払や保証金が不要となる。

(4) 保有楽器に関する故事来歴の取りまとめ

過年度にまとめた楽器の故事来歴を再度検証し、保有楽器 21 挺の写真と楽器専門家の寄稿等とともに 1 冊の図録にまとめた。

2. 楽器の貸与

当財団は、保有する弦楽器を国際的な活躍を目指し将来性が見込まれる演奏家に、

国籍を問わず無償で貸与する貸与事業を実施している。

楽器の貸与については、財団のホームページ等で応募方法を公表し貸与申請を受け付けている。楽器貸与先の選考は、欧・米・アジアの有識者で構成される諮問機関である楽器貸与委員会で毎年行っている。

楽器貸与委員会の審議対象外として、1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門優勝者に次期コンクールまでの期間、ストラディヴァリウス1708年製ヴァイオリン「ハギンス」を副賞として貸与している。また、デビュー公演、周年記念公演、レコーディング等の具体的な演奏活動目的がある演奏家への満1年以内の貸与も行っている。

貸与区分、貸与期間、年齢制限などの申請条件等の詳細については、下記のとおり実施している。本年度も申請者から提出された書類及び動画は、楽器貸与委員による事前審査、楽器貸与委員会での討議を経て、新規の被貸与者を選定した。

なお、貸与期間の上限7年を超える被貸与者(旧長期貸与区分)については、演奏活動に支障が出ないように協議の上、楽器の返却時期を決定している、

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公演延期等を考慮し、貸与期間を延長する対応をした。

区分	貸与期間	貸与楽器配分の目安	申請条件	貸与決定方法
A	満7年以内	保有楽器数の70%	申請年の9月1日時点で35歳以下の者 (クアルテットは、4名の平均が40歳以下)	楽器貸与委員会での選考を経て会長決裁
B	満3年以内	保有楽器数の15%	日本を拠点に演奏活動している者 申請年の9月1日時点で35歳以下の者 (クアルテットは、4名の平均が40歳以下)	
C	満1年以内	保有楽器数の10%	具体的な演奏活動の目的がある者 (例:デビュー公演・周年記念公演・レコーディング・コンクール等)	会長決裁
D	次期コンクール開催時まで	保有楽器数の5%	エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者	

(1) 楽器貸与委員会

本年度は、下記のとおり実施した。

開催日	2020年11月16日(月)14:00～15:45
場所	日本財団ビル内2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)
楽器貸与委員	巻末別紙2のとおり
財団保有楽器	巻末別紙3のとおり
審議事項	①新規貸与申請について ②現在の貸与状況について

会議結果

①新規貸与(ヴァイオリン3名、チェロ1名)

ヴァイオリン7名、チェロ2名 計9名より楽器貸与申請があったが、審議の結果、ヴァイオリンA区分は2名(Timothy Chooiに7年、María Dueñasに4年)の貸与が合

意された。ヴァイオリン B 区分は 1 名(吉田南に 3 年)の貸与が合意された。チェロ A 区分は 1 名(Camille Thomas に 2 年)の貸与が合意された。

②現被貸与者(旧長期貸与)の楽器返却時期は、貸与状況を説明し了承された。

(2) 楽器の貸与状況

本年度における保有楽器 21 挺の貸与状況は下記及び巻末別紙 4 のとおり。

各被貸与者から財団へ報告された演奏会数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により例年より大幅に減少したが、オンライン配信等で各被貸与者の努力があった。

①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

被貸与団体 Goldmund Quartet

①1680 年製 Violin Pinchas Adt(ドイツ・ミュンヘン在住)

②1727 年製 Violin Florian Schötz(ドイツ・ヴュルツブルク在住)

③1731 年製 Viola Christoph Vandory(ドイツ・ミュンヘン在住)

④1736 年製 Cello Raphael Paratore(ドイツ・ミュンヘン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 15 回(聴衆約 4,300 名:オンライン配信含む)

2019 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与団体として 4 年の貸与が合意され、2019 年 8 月 28 日(うち 3 名は 2019 年 9 月 27 日)より当該楽器の貸与を開始した。2023 年 8 月 27 日(うち 3 名は 2023 年 9 月 26 日)まで(貸与期間 4 年)貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

⑤ Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”

被貸与者 Veronika Eberle(ドイツ・ベルリン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 7 回(聴衆約 2,700 名:オンライン配信含む)

2009 年 5 月 11 日より短期貸与を開始し、2009 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2023 年 12 月 31 日まで(貸与期間 14 年 8 ヶ月)貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

⑥ Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”

被貸与者 Suyoen Kim(ドイツ・ベルリン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 14 回(聴衆約 4,800 名:オンライン配信含む)

2014 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2015 年 1 月 20 日より貸与を開始した。2023 年 8 月 31 日まで(貸与期間 8 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

⑦ Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”

被貸与者 Stella Chen(アメリカ・ニューヨーク在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 2 回(聴衆約 1,300 名:オンラインのみ)

2019 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として 2019 年 5 月 28 日より次期コンクール開催 2024 年 4 月までの約 5 年間(通常 4 年ごとの開催のコンクールだが新型コロナウイルスの影響により 1 年延期された)の貸与予定。コロナ禍の ATA カルネ対応のため、貸与を一時中断して日本に楽器を搬入

した。

⑧ Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”

被貸与者 Benjamin Beilman (アメリカ・ニューヨーク在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 5 回 (聴衆約 26,800 名:オンライン配信のみ)

2016 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2016 年 12 月 7 日より貸与を開始した。2023 年 12 月 6 日まで (貸与期間 7 年) 貸与予定。当財団の演奏会 (後述) に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。コロナ禍の ATA カルネ対応のため、貸与を一時中断して日本に楽器を搬入した。

⑨ Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”

被貸与者 Svetlin Roussev (スイス・ジュネーブ在住)

2012 年 1 月 15 日より Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim” を短期貸与したが、2012 年 2 月 8 日に当該楽器に変更した。2012 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2021 年 8 月 31 日まで (貸与期間 9 年 8 ヶ月) 貸与予定。当財団の演奏会 (後述) に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

⑩ Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”

被貸与者 諏訪内晶子 (フランス・パリ在住)

2000 年 8 月 11 日より短期貸与を開始し、2001 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2020 年 9 月 30 日で (貸与期間 20 年 2 ヶ月) 貸与が終了した。当財団の演奏会 (後述) に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

⑪ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”

被貸与者 Angelo Xiang Yu (アメリカ・ボストン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 3 回 (聴衆約 22,500 名:オンライン配信のみ)

2019 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与者として 7 年の貸与が合意され、当該楽器を 2019 年 11 月 1 日より貸与した。2026 年 10 月 31 日まで (貸与期間 7 年) 貸与予定。コロナ禍の ATA カルネ対応のため、貸与を一時中断して日本に楽器を搬入した。

⑫ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”

被貸与者 Arabella Miho Steinbacher (オーストリア・ウィーン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 13 回 (聴衆約 9,500 名:オンライン配信含む)

2005 年 5 月 6 日より Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz” を短期貸与していたが、2005 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2006 年 9 月 4 日より当該楽器に変更した。2020 年 12 月 31 日までの貸与予定であったが、世界規模での新型コロナウイルス感染症の影響により渡航が制限されているため、渡航制限が解除されるまで貸与を延長した。年度末時点の貸与期間は、14 年 7 ヶ月、通算期間計 15 年 11 ヶ月となった。当財団の演奏会 (後述) に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

⑬ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”

被貸与者 Ji Young Lim (ドイツ・ベルリン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 13 回(聴衆約 12,100 名:オンライン配信含む)

同氏は 2015 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を 2015 年 6 月 2 日より貸与(3 年 10 ヶ月)していたが、引き続きの貸与の申請があり、2018 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与者として合意された。当該楽器を 2019 年 3 月 28 日より 2022 年 6 月 1 日まで(貸与期間 3 年 2 ヶ月、通算期間計 7 年)貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

⑭ Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”

被貸与者 五嶋 龍(アメリカ・ニューヨーク在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 14 回(聴衆約 10,900 名:オンライン配信含む)

2013 年 3 月 7 日より短期貸与を開始し、2013 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認された。2021 年 8 月 31 日まで(貸与期間 8 年 6 ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。コロナ禍の ATA カルネ対応のため、貸与を一時中断して日本に楽器を搬入した。

⑮ Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”

被貸与者 大谷康子(東京在住)

貸与期間 2020 年 2 月 1 日～2021 年 7 月 31 日 貸与区分 C

演奏活動 45 周年記念演奏会のため

※C 区分は 1 年以内の貸与であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で演奏活動ができないため 6 ヶ月延長した

当該楽器を使用しての演奏 合計 33 回(聴衆約 17,900 名:オンライン配信含む)

当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑯ Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”

1)被貸与者 Ray Chen(アメリカ・フィラデルフィア在住)

同氏は 2009 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として 2009 年 6 月 2 日から 2010 年 9 月 8 日までの間(貸与期間 1 年 3 ヶ月) Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を貸与したが、他団体からも楽器貸与を受けていたため、その期間は楽器を返却した。その後、他団体からの貸与が終了したので、2012 年 4 月 11 日より Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”(貸与期間 2 年 2 ヶ月)、2014 年 6 月 19 日より Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”(貸与期間 5 年 4 ヶ月)を貸与。2019 年 10 月 23 日より当該楽器の貸与契約を 2022 年 8 月 31 日まで(貸与期間計 3 年 10 ヶ月、通算貸与期間計 11 年 7 ヶ月)貸与予定であるが、コロナ禍の ATA カルネ対応のため、貸与を一時中断して日本に楽器を搬入した。当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

2)被貸与者 渡辺玲子(東京在住)

同楽器は上記の理由で一時貸与を中断して日本に搬入していたので、その間、同氏は過去の楽器貸与者であり、コロナ禍において海外の演奏家が渡航不可のための代演として当財団の事業(後述)に出演するため、下記の期間、演奏委託した。

貸与期間 2020年10月23日～2021年3月15日

当該楽器を使用しての演奏 合計7回(聴衆約11,700名:オンライン配信含む)

⑰ Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”

被貸与者 Yuki Manuela Janke(ドイツ・ハゼルバツハタール在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計3回(聴衆約1,600名:オンライン配信含む)

2007年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2007年11月3日より貸与を開始した。2021年2月5日まで貸与予定であったが、世界規模での新型コロナウイルス感染症の影響により渡航が制限されているため、渡航制限が解除されるまで貸与を延長した。年度末時点の貸与期間は13年5ヶ月となる。当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

⑱ Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”

被貸与者 Pablo Ferrández(スペイン・トレドネス在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計16回(聴衆約37,900名:オンライン配信含む)

2013年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、2014年1月17日より貸与を開始した。2024年7月31日まで(貸与期間10年7ヶ月)貸与予定。本年度中に、当該楽器を使用してのCDをリリースした。当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

⑲ Stradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”

被貸与者 Camille Thomas(フランス・パリ在住)

貸与期間 2019年9月24日～2021年3月23日 貸与区分C

CD録音のため

※C区分は1年以内の貸与であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で演奏活動ができないため6ヶ月延長した

当該楽器を使用しての演奏 合計22回(聴衆約397,700名:オンライン配信含む)

貸与区分Cで貸与中であったが、2020年度楽器貸与委員会において貸与区分Aに承認され、2021年3月24日から2023年3月23日まで(貸与期間2年、通算貸与期間計3年6ヶ月)の貸与契約を締結した。本年度中に、当該楽器を使用してのCDをリリースした。

⑳ Guarneri del Gesu 1736年製 Violin “Muntz”

被貸与者 María Dueñas(オーストリア・ウィーン在住)

貸与期間 2019年7月12日～2021年1月11日 貸与区分C

デビューコンサート及びCDレコーディングのため

※C区分は1年以内の貸与であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で演奏活動ができないため6ヶ月延長した

当該楽器を使用しての演奏 合計11回(聴衆約14,600名:オンライン配信含む)

当財団の演奏会(後述)に出演を予定したが、新型コロナウイルス禍のため中止となった。貸与区分Cで貸与中であったが、2020年度楽器貸与委員会において貸与区分Aに承認され、2021年1月12日より2025年1月11日まで(4年、通算貸与期間計5年6ヶ月)の貸与契約を締結した。

㉑ Guarneri del Gesu 1740年製 Violin “Ysaye”

被貸与者 Sergey Khachatryan(ドイツ・エッシュボルン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 13 回(聴衆約 5,900 名)

同氏は 2005 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、2005 年 5 月 31 日より 2009 年 4 月 7 日まで Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins” を貸与(3 年 10 ヶ月)した。引き続きの貸与の申請があり、Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”を 2009 年 4 月 7 日より貸与。その後、2010 年 10 月 27 日より当該楽器へ変更し 2020 年 12 月 31 日まで貸与予定であったが、世界規模でのコロナウイルス感染症の影響により渡航が制限されているため、渡航制限が解除されるまで貸与を延長した。年度末時点での貸与期間は 10 年 5 ヶ月、通算貸与期間 15 年 10 ヶ月となる。

3. 演奏会の開催

当財団楽器の被貸与者による演奏会(12 公演)を下記のとおり予定したが新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、8 公演が中止となり 4 公演のみの実施となった。

これまでは演奏会の実録 CD を作成し、関係者へ配布する等で事業の周知に努めていたが、本年度は中止となった公演では、演奏家の協力を得てのリモート演奏動画や演奏会の動画を当財団 YouTube サイトで配信し、会場に来られない人たちに向けての周知広報活動をした。

① 演奏会の定期開催(4 公演:うち 1 公演実施、3 公演は感染症で中止)

演奏会の集客力を高めるための有効な方法の一つとして、演奏会の定期開催を 2017 年度より開始した。毎年同じ地域、同じ時期に定期的開催し、クラシック音楽ファンに予め開催の告知することで集客力が期待できる。

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で楽器の被貸与者の来日が困難となり、3 公演が中止となった。

(1) 浦安市との共同コンサート(日程変更しての開催)

2016 年 12 月に浦安市と当財団間で、双方が保有する音楽資源を有効に活用し、共同でコンサートを実施する協定を締結し、2017 年度より演奏会を定期的開催してきており、本年度で 4 回目となった。

名 称	大谷康子 ヴァイオリン・リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol.4
日 程	2020 年 11 月 3 日(火・祝) 14:00~16:00
会 場	J:COM 浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (303 席)
主 催	(公財)日本音楽財団、浦安市
共 催	J:COM 浦安音楽ホール
助 成	(公財)日本財団
出 演	大谷康子 Stradivarius 1725 年製 Violin "Wilhelmj"使用 佐藤隆史 ピアノ
曲 目	<第 1 部 秋に寄せて> エルガー:愛の挨拶

ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲集『四季』より「秋」第一楽章
 宮城道雄:春の海
 «生誕 250 年記念»ベートーヴェン:
 ヴァイオリン・ソナタ 第 5 番「春」第 1 楽章
 «一緒に歌おう!」もみじ、里の秋
 ピアソラ:『ブエノスアイレスの四季』より「秋」
 <第 2 部 特別な年に世界の音楽>
 «アジア»外山雄三:「日本民謡による組曲」より 第 1 楽章
 «アフリカ»ジマー/ハーヴェイ:映画『リトルプリンス 星の王子さまと私』
 より「Suis moi」
 «北米»バーンスタイン:映画『ウェスト・サイド・ストーリー』より
 「トゥナイト」、「マンボ」
 ボック/ハーニック:映画『屋根の上のヴァイオリン弾き』より
 「オープニングタイトル」、「サンライズ・サンセット」
 «南米»ピアソラ:リベルタンゴ
 «オセアニア»ロジャース:ミュージカル『南太平洋』より
 「バリハイ」、「魅惑の宵」
 «ヨーロッパ»サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン

入場料	市民優先 4,000 円、一般 5,000 円
来場者数	約 120 名(コロナ禍で会場の 50%入場制限実施)
寄付額	487,000 円(チケット売上全額) (チケット売上:市民優先 4,000 円×103 枚、一般 5,000 円×15)
寄付先	浦安市の「浦安市文化芸術振興基金」に積立てられ、市民の文化芸術活動の普及振興に使われる。

(2)～(4)ストラディヴァリウス・コンサート 2020 (3 公演中止)

英語表題「Encounter with Stradivari 2020」

当財団は、ストラディヴァリウスを貸与している 10 名以上の演奏家による「ストラディヴァリウス・コンサート」を 4 年に一度開催している。ストラディヴァリウス 10 挺以上を一堂にした演奏会は、世界的にも貴重な機会であり、定期開催することにより、名器の音色と質の高いクラシック音楽を披露し、各開催地におけるクラシック音楽の振興・普及に寄与している。

本年度は福岡、大阪公演は室内楽形式、東京公演はオーケストラとの共演として下記のとおり予定したが、世界規模で新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外在住の演奏家の渡航制限があり開催中止とした。チケット販売は既に行われていたため払戻を行ったが、一部払い戻しがされなかった分は、各公演予定の寄付先である「SOS 子どもの村 Japan」へ 38,400 円(福岡公演)、(一財)住友生命福祉文化財団へ 8,000 円(大阪公演)、(公財)サントリー芸術財団サントリーホールへ 366,000 円(東京公演)をそれぞれ寄付した。

なお、演奏会は中止となったが出演を予定した有志演奏家 13 名とピアニスト、指揮者によるリモート演奏動画を制作し、「パッヘルベル『カノン』リモート演奏～ストラディヴァリウ

ス 2020 に代えて～」と題して当財団 YouTube サイトで配信し、全世界に向けてストラディヴァリウスの音色を届けた。

中止となった公演の出演予定者とスケジュール等は下記とおり

Goldmund Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”貸与団体
Florian Schötz	Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”
Pinchas Adt	Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini”
Christoph Vandory	Stradivarius 1731 年製 Viola “Paganini”
Raphael Paratore	Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”
Veronika Eberle	Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”貸与
Suyoen Kim	Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”貸与
Benjamin Beilman	Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”貸与
Svetlin Roussev	Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice” 貸与
諏訪内晶子	Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”貸与(東京のみ)
Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”貸与
Ji Young Lim	Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”貸与
五嶋 龍	Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”貸与 (福岡、大阪のみ)
Ray Chen	Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”貸与
Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”貸与
Pablo Ferrández	Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”貸与 (当財団楽器の被貸与者 15 名)
江口 玲	ピアノ(福岡、大阪のみ)
山田和樹	指揮(東京のみ)
東京交響楽団	オーケストラ(東京のみ)

(2)福岡公演:室内楽形式(中止)

日 時	2020 年 9 月 6 日(日)15:00 開演
会 場	福岡シンフォニーホール (1,867 席)(福岡県福岡市)
主 催	(公財)日本音楽財団、(株)西日本新聞社
共 催	(公財)アクロス福岡
助 成	(公財)日本財団
協 力	(特非)SOS 子どもの村 JAPAN、 (地独)福岡市立病院機構福岡こども病院
後 援	福岡県、福岡市、NHK、(株)朝日新聞社

(3)大阪公演:室内楽形式(中止)

日 時	2020 年 9 月 8 日(火)19:00 開演
会 場	住友生命いずみホール (821 席)(大阪府大阪市)
主 催	(公財)日本音楽財団、 住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]
助 成	(公財)日本財団

後 援 大阪府、NHK、(株)朝日新聞社
 (4)東京公演:オーケストラとの共演(中止)
 日 時 2020年9月10日(木)19:00開演
 会 場 サントリーホール大ホール (2,006席)(東京都港区)
 主 催 (公財)日本音楽財団、サントリーホール
 助 成 (公財)日本財団
 協 力 (特非)マギーズ東京
 後 援 (公財)港区スポーツふれあい文化健康財団
 NHK、(株)朝日新聞社

② 日本オーケストラ連盟との共同事業(5公演うち1公演実施、4公演は感染症で中止)
 本年度から、日本オーケストラ連盟との共同事業として、連盟の会員(正会員:25団体)である各地のオーケストラの主催する公演に当財団の楽器の被貸与者がソリストとして出演する事業を開始したが、出演を予定した演奏家がコロナ禍で来日できないため、5公演のうち4公演が協力できず、1公演のみを代演で協力した。

本事業は、双方が保有する音楽資源を有効に活用し、より効果的に事業を推進することができることが利点であり、当財団の楽器の被貸与者及び各楽団のレベル向上につながり、また、学生を公演に招待することにより、若者のクラシック音楽ファンの拡大に寄与する予定であった。この共同事業は、お互いに協力することにより、各団体単独ではできないことが可能になり、恩恵を受ける人を増やすことができることから、今後も取り組む予定である。

(5)大阪交響楽団 第249回定期公演(代替演奏家の協力により実施)

日 時 2021年2月5日(金)19:00開演
 会 場 ザ・シンフォニーホール (1,845席)(大阪府大阪市)
 主 催 (公社)大阪交響楽団
 協 力 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団、文化庁文化芸術振興費補助金
 指 揮 太田 弦
 出 演 渡辺玲子 Stradivarius 1735年製 Violin “Samazeiulh”使用
 来場者数 約470名(うち学生招待10名)

中止となった公演の出演予定者とスケジュール等は下記とおり

(6)セントラル愛知交響楽団 第179回定期演奏会

日 時 2020年11月20日(金)18:45開演
 会 場 三井住友海上しらかわホール (693席)(愛知県名古屋市中)
 主 催 (一社)セントラル愛知交響楽団
 協 力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 指 揮 角田鋼亮
 出演(中止) Benjamin Beilman Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”貸与

(7) 東京都交響楽団 都響スペシャル 2020

日 時 2020年11月23日(月・祝)14:00 開演
会 場 サントリーホール大ホール (2,006席)(東京都港区)
主 催 (公財)東京都交響楽団
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
指 揮 小泉和裕

出演(中止) Benjamin Beilman Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”貸与

(8) オーケストラ・アンサンブル金沢 第435回定期公演

日 時 2020年11月26日(木)19:00 開演
会 場 石川県立音楽堂コンサートホール (1,560席)(石川県金沢市)
主 催 オーケストラ・アンサンブル金沢
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
指 揮 Günter Pichler

出演(中止) Benjamin Beilman Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”貸与

(9) 群馬交響楽団 第564回定期公演

日 時 2021年1月30日(土)15:00 開演
会 場 高崎芸術劇場 (2,026席)(群馬県高崎市)
主 催 (公財)群馬交響楽団
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
指 揮 小林研一郎

出演(中止) Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”貸与

③ 新しいファン層拡大を目的とした演奏会の開催 (2公演実施)

青少年がクラシック音楽に親しむきっかけ作りとして、当財団の楽器被貸与者によるトークと演奏を交えた演奏会、ジュニアオーケストラとの共演を含む演奏会を開催した。新しいファン層の拡大によるクラシック音楽の振興・普及を図った。

(10) 鳥取県との共同事業(青少年のためのヴァイオリンコンサート)

日 時 2020年10月19日(月)13:45~15:00
会 場 境港シンフォニーガーデン(400席)(鳥取県境港市)
主 催 (公財)鳥取県文化振興財団、(公財)日本音楽財団
共 催 境港市、境港市教育委員会
助 成 (公財)日本財団
出 演 大谷康子 Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj” 使用
小山さゆり ピアノ

来場者数 約180名(コロナ禍で会場の50%の入場制限実施)
(境港市立渡小学校4~6年生、教職員、
「とっとりの芸術宅配便」登録アーティスト)

動画配信	当日の演奏等を動画撮影し、当財団 YouTube サイトで配信		
(11)北九州市との共同事業(子どもの未来をひらくヴァイオリンコンサート)			
日 時	2021年3月21日(日)14:00~15:50		
会 場	黒崎ひびしんホール(826席)(福岡県北九州市)		
主 催	北九州市、(株)黒崎コミュニティサービス、(公財)日本音楽財団		
助 成	(公財)日本財団		
後 援	北九州市教育委員会		
出 演	大谷康子	Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj 使用	
	林 絵里	ピアノ(第1部出演)	
	北九州市ジュニアオーケストラ(第2部出演)		
	小森康弘	指揮(第2部出演)	
来場者数	約200名(コロナ禍で親子150組以内の事前申込で招待)		
動画配信	当日の演奏等を動画撮影し、当財団 YouTube サイトで配信		

④ 若手育成を目的する演奏会の開催(1公演中止)

当財団の楽器を貸与した若手演奏家の日本デビュー公演として開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症が収束していないため中止とした。中止に伴うチケットの払い戻しがされなかった額(4,000円)は、当初予定していた「(特非)子どもに音楽を」に寄付した。マリア・ドウエニャスより、日本のファン向けにメッセージと演奏動画が送られてきたので、それらを編集して当財団 YouTube サイトで配信した。

(12)「マリア・ドウエニャス ヴァイオリン・リサイタル」(中止)

日 時	2020年7月8日(水)19:00		
会 場	サントリーホールブルーローズ(小ホール) (380席)(東京都港区)		
主 催	(公財)日本音楽財団		
助 成	(公財)日本財団		
出 演	María Dueñas	Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”貸与	
	江口 玲	ピアノ	

4. 音楽文化振興・普及のための助成

弦楽奏者育成並びに弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業を対象として公募し、有識者で構成される事業運営委員会において、若手弦楽器奏者育成、公益性、運営力、創造性、緊要度の5つの要件から総合的に判断して助成先を選定した。年度初めに実施される事業にも対応できるように、前年度中に委員会を開催している。

2020年度第1回事業運営委員会

開催日	2020年3月11日(水)14:00~16:30		
場 所	日本音楽財団内会議室		
事業運営委員	巻末別紙2のとおり		

事業運営委員会で採択された下記の11事業に助成予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け3事業は中止となった。

本年度の助成は、開催延期の3事業、規模縮小の1事業を含む計8事業に対し、4,600,000円となる。

詳細は下記のとおり。

(1) Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2020-21 (全5回うち1回中止)

実施団体 一般社団法人 Music Dialogue
日程 2020年5月12日(火)公開リハーサル、15日(金)本番(中止)
2020年9月9日(水)公開リハーサル、12日(土)本番
2020年11月28日(土)公開リハーサル、30日(月)本番
2021年1月19日(火)公開リハーサル、21日(木)本番
2021年3月2日(火)公開リハーサル、5日(金)本番
会場 中目黒GTプラザホール(公開リハーサル)
加賀町ホール・めぐろパーシモンホール小ホール(本公演)
助成額 1,000,000円

(2) ARTE MANDOLINISTICA 浜松公演 2020

実施団体 特定非営利活動法人 ARTE MANDOLINISTICA
日程 2020年8月30日(日)
会場 アクトシティ浜松中ホール(静岡)
助成額 300,000円

(3) リスニング・プログラム(旧 ICEP2020) ※公演を中止し、動画配信に変更

実施団体 認定NPO法人ミュージック・シェアリング
日程 2020年7月28日(火)~2021年3月31日(水)
配信対象 日本全国の学校や病院など56施設(約4,300名:主に子ども)
助成額 500,000円

(4) シンフォニッタ静岡 第62回定期公演(第1回関西定期公演)

実施団体 シンフォニッタ静岡
日程 2020年10月15日(木) ※日程変更して開催
会場 住友生命いずみホール(大阪)
助成額 1,000,000円

(5) 東日本大震災から10年 新日本フィルハーモニー交響楽団 思う心のコンサート

実施団体 東海市
日程 2021年3月6日(土)
会場 東海市芸術劇場大ホール(愛知)
助成額 600,000円

以下3事業は日程を次年度に延長し内容を一部変更して実施予定

(6) 延岡フィルハーモニー管弦楽団 楽団30周年記念公演

実施団体 延岡フィルハーモニー管弦楽団
日程 2021年6月19日(土)予定
会場 延岡総合文化センター(宮崎)
助成予定額 500,000円

(7) ゼフィルス・ピアノ五重奏団第2回定期演奏会

実施団体 ゼフィルス・ピアノ五重奏団
日程 2021年7月27日(火)予定
会場 東京文化会館小ホール(東京)
助成予定額 500,000円

(8) 真夏の夜の夢のコンサート～金木博幸と素敵な仲間たち～

実施団体 飛騨かわいチェロ・リサイタル実行委員会
日程 2021年8月20日(金)予定
会場 飛騨市文化交流センター(岐阜)
助成予定額 200,000円

以下3事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催が中止となった。

(1) 東京ジュニアオーケストラソサエティ第21回定期演奏会(中止)

団体 特定非営利活動法人東京ジュニアオーケストラソサエティ
日程 2020年8月24日(月)
会場 文京シビックセンター大ホール(東京)

(2) 第1回ヒロシマ・ワールド・ユース・オーケストラコンサート(中止)

団体 ヒロシマ・ワールド・ユース・オーケストラ
日程 2020年8月30日(日)
会場 広島国際ホール(広島)

(3) 蚕都上田で室内楽を織る～地方で室内楽の本物の質感にふれる(中止)

団体 クラシック音楽に親しむ講座の会
日程 2020年6月15日(月)～2021年3月31日(水)
会場 上田市交流文化芸術センター サントミューゼ小ホール(長野)

5. 広報活動

当財団の活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団パンフレット(日英併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページや SNS(日英併記)にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会の CD や動画を制作し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布または、当財団 YouTube サイトで配信している。本年度作成した CD 及び YouTube サイトは、以下のとおり。
 - ① 「ストラディヴァリウス・コンサート 2020」中止に伴う動画配信: 出演予定の被貸与者13名と指揮者、ピアニスト計15名による「カノン」のリモート演奏動画を当財団 YouTube サイトで配信した。
 - ② 「マリア・ドゥエニャス ヴァイオリン・リサイタル」中止に伴う動画配信: 本人の収録した演奏動画とメッセージが届いたので、当財団 YouTube サイトで配信した。
 - ③ 「大谷康子ヴァイオリン・リサイタル」CD制作。(2020年11月3日浦安収録)
 - ④ 「青少年のためのヴァイオリンコンサート」動画を当財団 YouTube サイトで配信した。(2020年11月19日境港収録)
 - ⑤ 「子どもの未来をひらくヴァイオリンコンサート」動画を当財団 YouTube サイトで配

信した。(2021年3月21日北九州収録)

- (4) 楽器被貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、当財団の楽器貸与事業の周知・広報に協力を得ている。
- ① 被貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称並びに当該楽器が当財団から貸与されていること的事实を周知・広報する。
 - ② 貸与楽器による演奏が、CD、動画等の形で制作されるときは、被貸与者は、貸与楽器の名称並びに当該楽器が当財団から貸与されていること的事实を当該制作物に明確に表示する。
 - ③ 被貸与者は、年に1度、3月末日までに前年4月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)、CD、動画等制作に関する活動内容報告書を当財団に提出する。

被貸与者が本年度中にリリースしたCDは以下のとおり。

Pablo Ferrández Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”使用
CD “REFLECTIONS”
Camille Thomas Stradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”使用
CD “Voice of Hope”

- (5) 音楽専門衛星デジタルラジオ「ミュージックバード」の協力を得て当財団の主催演奏会の実録CDの音源を放送し、不特定多数の人々にストラディヴァリウスの華麗な響きを楽しんでもらい、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。特に普段ストラディヴァリウスの演奏に触れる機会のない地方のクラシック音楽ファンには、大変喜ばれているとの報告を受けている。従来から放送協力していたが、当財団専用の番組「ストラディヴァリウス・コンサート」として、2019年7月よりスタートした。演奏会に近いストラディヴァリウスの音色を届けるため、可能な限り高音質な音源を提供している。

本年度における放送内容は下記のとおりである。

- 1) 放送日:2020年4月5日(日)、4月11日(土)(再放送)
「Svetlin Roussev ヴァイオリン・リサイタル」
(浦安音楽ホール 2018年4月18日収録)
- 2) 放送日:2020年4月12日(日)、4月18日(土)(再放送)
・「竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル」
(トッパンホール 2009年12月18日収録)
・「竹澤恭子&江口玲チャリティコンサート」
(石川県立音楽堂邦楽ホール 2010年2月2日収録)
- 3) 放送日:2020年5月3日(日・祝)、5月9日(土)(再放送)
・「名古屋フィル共同事業ストラディヴァリウス・シリーズ1」
(愛知県豊田市コンサートホール 2018年2月3日収録)
・「名古屋フィル共同事業ストラディヴァリウス・シリーズ2」
(愛知県日本特殊陶業市民会館フォレストホール 2018年2月8日収録)
- 4) 放送日:2020年5月10日(日)、5月16日(土)(再放送)

- ・「庄司紗矢香 ヴァイオリン・リサイタル」
(日本大学カザルスホール 2005年12月19日収録)
- ・「庄司紗矢香&小菅優チャリティコンサート」
(福岡シンフォニーホール 2009年1月19日収録)
- 5) 放送日:2020年5月17日(日)、5月23日(土)(再放送)
「Ray Chen ヴァイオリン・リサイタル」
(紀尾井ホール 2018年1月31日収録)
- 6) 放送日:2020年6月7日(日)、6月13日(土)(再放送)
・「諏訪内晶子 ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2012年1月19日収録)
- ・「オール・ストラディヴァリウス・コンサート」
(保利劇場、釣魚台迎賓館(中国・北京)2002年10月25日、26日収録)
- 7) 放送日:2020年6月14日(日)、6月20日(土)(再放送)
「諏訪内晶子 ヴァイオリン・リサイタル」
(浦安ホール 2017年4月14日収録)
- 8) 放送日:2020年7月5日(日)、7月11日(土)(再放送)
「名古屋フィル共同事業ストラディヴァリウス・シリーズ3」
(愛知県日本特殊陶業フォレストホール 2018年2月16日、17日収録)
- 9) 放送日:2020年7月12日(日)、7月18日(土)(再放送)
「エンカウンター・ウィズ・ストラディヴァリ 2006」
(聖シモン&ユタ教会(チェコ・プラハ)2006年10月9日収録)
- 10) 放送日:2020年8月2日(日)、8月8日(土)(再放送)
「五嶋龍 ヴァイオリン・リサイタル」
(王子ホール 2012年6月12日収録)
- 11) 放送日:2020年8月9日(日)、8月15日(土)(再放送)
・「チャリティコンサート 五嶋龍 ヴァイオリン・リサイタル」
(三田市総合文化センター郷の音ホール 2014年11月20日収録)
- ・「五嶋龍 ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2017年1月31日収録)
- 12) 放送日:2020年8月16日(日)、8月22日(土)(再放送)
・「樫本大進ウインター・リサイタル」
(紀尾井ホール 2005年2月16日収録)
- ・「Erik Schumann ヴァイオリン・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 2009年8月27日収録)
- 13) 放送日:2020年9月6日(日)、9月12日(土)(再放送)
「ストラディヴァリウス・コンサート 2016」
(サントリーホール 2016年9月13日収録)
- 14) 放送日:2020年9月13日(日)、9月19日(土)(再放送)
「ストラディヴァリウス・コンサート 2019」
(サントリーホール「ブルーローズ」2019年10月31日収録)
- 15) 放送日:2020年10月4日(日)、10月10日(土)(再放送)

- 「ストラディヴァリウス チェロ・リサイタル」
(浜離宮朝日ホール 1998年10月26日収録)
- 16) 放送日:2020年10月11日(日)、10月17日(土)(再放送)
「Steven Isserlis チェロ・リサイタル」
(紀尾井ホール 2011年5月16日収録)
- 17) 放送日:2020年11月1日(日)、11月7日(土)(再放送)
「ストラディヴァリウス・コンサート 2008」
(サントリーホール 2008年9月9日収録)
- 18) 放送日:2020年11月8日(日)、11月14日(土)(再放送)
「ストラディヴァリウス・コンサート 2010」
(ルーヴル美術館オーデトリウム(フランス・パリ)2010年10月7日収録)
- 19) 放送日:2020年12月6日(日)、12月12日(土)(再放送)
・青少年のためのレクチャー・コンサート「音楽における愛のかたち」
(秋田県アトリオンホール 2011年11月11日収録)
・青少年のためのレクチャー・コンサート「大作曲家たちの友情と反目」
(秋田県アトリオンホール 2012年11月6日収録)
- 20) 放送日:2020年12月13日(日)、12月19日(土)(再放送)
・青少年のためのレクチャー・コンサート「名曲への誘い」
(秋田県アトリオンホール 2014年11月7日収録)
・青少年のためのレクチャー・コンサート「ベートーヴェンを聴こう」
(秋田県アトリオンホール 2015年10月30日収録)
- 21) 放送日:2021年1月3日(日)、1月9日(土)(再放送)
・「東京クワルテット with ストラディヴァリウス」
(浜離宮朝日ホール 2012年2月20日収録)
・「ハーゲン弦楽四重奏団 plays パガニーニ・クワルテット」
(浜離宮朝日ホール 2014年9月29日収録)
- 22) 放送日:2021年1月10日(日)、1月16日(土)(再放送)
「クレモナ・クワルテット&小菅優」
(浜離宮朝日ホール 2018年7月2日収録)
- 23) 放送日:2021年2月7日(日)、2月13日(土)(再放送)
・「阪神淡路大震災チャリティコンサート」
(神戸文化ホール中ホール 2011年2月17日収録)
・「東京クワルテット・コンサート」
(浜離宮朝日ホール 2013年2月8日収録)
- 24) 放送日:2021年2月14日(日)、2月20日(土)(再放送)
・「アイザック・スターン・メモリアル・コンサート」
(第一生命ホール 2003年5月28日収録)
- 25) 放送日:2021年3月13日(日)、3月20日(土)(再放送)
・「ストラディヴァリウス・チャリティコンサート」
(三田市総合文化センター郷の音ホール 2013年8月8日収録)
・「Alina Pogostkina ヴァイオリン・リサイタル」

(浜離宮朝日ホール 2017 年 10 月 17 日収録)

(6) 音楽雑誌、新聞、その他マスメディアの取材要請、財団保有楽器の写真提供要請に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。

本年度における主な掲載記事等の内容は以下のとおり。

- ① 雑誌「サラサーテ」2020 年 8 月号
「ストラディヴァリウス・コンサート 2020」クローズアップ
出演者 15 名と楽器の紹介
- ② 雑誌「音楽の友」2020 年 8 月号
「ストラディヴァリウス・コンサート 2020」
コンサートについて及びゴルトムント・クアルテットのインタビュー記事
- ③ 雑誌「サラサーテ」2021 年 4 月号
「ウジェーヌ・イザイ特集」
Guarneri del Gesu 1740 年製 Violin “Ysaye”の楽器写真提供
- ④ John Axelrod 著 BIG NOTES, How a Stradivarius Makes Money and Music
インタビュー協力

Ⅲ 総 務

1. 役員の変動

2020年6月16日開催の評議員選任委員会において、任期満了に伴う評議員10名が選任され2020年6月23日付けで就任した。

2020年6月23日開催の定時評議員会において、任期満了に伴う理事8名、監事2名が選任され同日就任した。なお、同日開催の第2回理事会において代表理事1名、業務執行理事2名を選定した。

2020年6月23日付けで木全ミツ評議員、須磨久善評議員が任期満了により退任した。2020年9月15日付けで竹内千春理事が一身上の都合により辞任した。

年度末現在の理事・監事・評議員の名簿は巻末別紙1のとおりである。

2. 理事会

本年度は、理事会を下記のとおり3回開催した。

2020年度第1回理事会

開催日	2020年6月5日(金)14:00～14:50
場 所	日本音楽財団内会議室(東京都港区赤坂 1-2-2)
議決事項	第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 2020年度事業計画及び収支予算の一部変更(追加)について

2020年度第2回理事会

開催日	2020年6月23日(火)14:00～14:30
場 所	六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木 6-10-1)
議決事項	第1号議案 代表理事及び業務執行理事(うち1名は常務理事)の選定について 第2号議案 評議員会の招集について

2020年度第3回理事会

開催日	2021年3月5日(金)13:30～14:25
場 所	日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂 1-2-2)
議決事項	第1号議案 2021年度事業計画及び収支予算について 付帯決議案 事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する 収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する 第2号議案 諸規程の整備について 第3号議案 定時評議員会の招集について

3. 評議員会

本年度は、評議員会を下記のとおり2回開催した。

2020年度定時評議員会

開催日 2020年6月23日(火)11:30~12:30
場所 六本木ヒルズクラブ(東京都港区六本木 6-10-1)
議決事項 第1号議案 2019年度事業報告及び決算について
第2号議案 2020年度事業計画及び収支予算の一部変更(追加)について
第3号議案 任期満了に伴う理事、監事の選任について

2020年度臨時評議員会

開催日 2021年3月5日(金)15:00~15:45
場所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂 1-2-2)
議決事項 第1号議案 2021年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案
事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する

4. 監事会

2019年度事業報告及び収支決算につき監事監査を行った。

開催日 2020年6月3日(水)14:00~14:30
場所 日本音楽財団内会議室(東京都港区赤坂 1-2-2)

5. 評議員選任委員会

任期満了に伴う次期評議員10名を選任した。

開催日 2020年6月16日(火)17:30~17:50
場所 日本音楽財団内会議室(東京都港区赤坂 1-2-2)

6. 登記事項

2020年7月21日 評議員の変更登記(3名追加、2名削除)
2020年9月17日 理事の変更登記(1名削除)

7. 主務大臣(内閣府)への届出等

2020年7月6日 2019年度事業報告書及び収支決算書提出
2020年8月20日 評議員の登記事項変更届(追加3名、2名削除)
2020年9月23日 事業計画及び収支予算の一部変更届
2020年9月30日 理事の登記事項変更届(1名削除)
2021年3月30日 2021年度事業計画書及び収支予算書届

8. 外部監査の実施

永和監査法人に監査を委託し、期中監査を2021年3月17日に、期末監査を2021

年 4 月 27 日、5 月 26 日、27 日に実施した。

9. 広報活動「ランチタイムコンサート」の開催

「ランチタイムコンサート」(毎月第 2、第 4 水曜日)は、当財団の事業を多くの人々に知ってもらおう広報活動の一環として 2019 年より実施している。プロを目指す若手演奏家の発表の場として、また、来場者には気軽に音楽に親しむ機会を提供する場として、音楽文化の振興と普及に努めている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定した公演はすべて中止となった。出演予定者による演奏動画(演奏 15 分、自己紹介・曲紹介等 5 分 計 20 分)を収録し、日本音楽財団ランチタイムコンサート YouTube で公開した。動画協力演奏家は下記のとおり 10 組となった。

収録場所 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 1 階ロビー

2020 年 9 月 16 日収録

- ①「童謡オペラ！ランチタイムコンサート」
渡辺正親(テノール)、木村雄太(バリトン)
佐々木華(フルート)、玉崎優人(ピアノ)
- ②「気軽に聴けるクラシックコンサート」
野村なつき(ピアノ)

2020 年 9 月 30 日収録

- ③「ヴィオラが奏でるロマンス」
中 恵菜(ヴィオラ)、北端祥人(ピアノ)
- ④「ブギウギピアノの祝典」
高瀬啓伍(ピアノ)

2020 年 10 月 7 日収録

- ⑤「ピアノデュオで巡る音の旅」
尾島紫穂(ピアノ)、寺元嘉宏(ピアノ)
- ⑥「鳥羽咲音 チェロ・リサイタル」
鳥羽咲音(チェロ)、鳥羽泰子(ピアノ)
(出演者の希望により 2021/3/31 までの限定配信)

2020 年 10 月 14 日収録

- ⑦「箏二重奏の世界」
阪元沙有理(箏)、日吉章吾(箏)
- ⑧「メゾソプラノ&ピアノ デュオ・コンサート～ショパンとフランスに寄せて～」
持田温子(メゾソプラノ)、原久美子(ピアノ)

2020 年 10 月 28 日収録

- ⑨「It's a Classic Time!!」
柳田茄那子(ヴァイオリン)、居福健太郎(ピアノ)

2020 年 11 月 25 日収録

- ⑩「Contra Quartetto」

川野朝葉(コントラバス)、河村美蘭(コントラバス)
堀内堅太(コントラバス)、佐藤大哉(コントラバス)

10. 事務局

事務局を東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5 階に置き、業務を遂行した。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として在宅勤務を一部採用した。

年度末現在の事務局役職員数は常勤役員 2 名、常勤職員 5 名、契約職員 1 名、計 8 名であるが、うち 2 名が休業中である。

以上

別紙 1

公益財団法人日本音楽財団理事・監事・評議員名簿

(2021年3月31日現在、敬称略)

会 長	海老沢 勝二	(代表理事)
常務理事	加納 民夫	常勤 (業務執行理事)
理 事	石川 礼子	常勤 (業務執行理事)
理 事	海老澤 敏	国立音楽大学名誉教授
理 事	門野 泉	清泉女子大学名誉教授 (公財)東京財団政策研究所理事長、
理 事	芥藤 邦彦	元駐アメリカ合衆国特命全権大使
理 事	福井 俊彦	元日本銀行総裁 (一財)キャノングローバル戦略研究所理事長
監 事	垣 見 隆	弁護士
監 事	吉村 貞彦	公認会計士
評議員	相川 直樹	慶應義塾大学名誉教授
評議員	荒蒔 康一郎	元キリンホールディングス(株)会長
評議員	尾形 武寿	(公財)日本財団理事長
評議員	清原 武彦	産経新聞社特別顧問
評議員	児玉 幸治	(一財)機械システム振興協会顧問
評議員	佐藤 隆文	元金融庁長官
評議員	白石 美雪	音楽学者、武蔵野美術大学教授
評議員	西村 朗	作曲家、東京音楽大学教授
評議員	畠山 向子	(公財)畠山記念館館長
評議員	藤井 宏昭	国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長

委員名簿

(2021年3月31日現在、敬称略)

楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

委員長	原田 幸一郎	ヴァイオリニスト、桐朋学園大学教授、 東京音楽大学特任教授
委員長代行	イヴァン・デ・ラオノア Yvan de Launoit	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール 副理事長
委員	池辺 晋一郎	作曲家、東京音楽大学名誉教授
委員	アイダ・カヴァフィアン Ida Kavafian	ヴァイオリニスト、ジュリアード音楽院教授、 カーティス音楽院教授
委員	キム・カシュカシャン Kim Kashkashian	ヴィオリスト、ニューイングランド音楽院教授
委員	クライブ・ギリンソン Clive Gillinson	カーネギーホール総支配人兼芸術監督
委員	ジョナサン・ノット Jonathan Nott	指揮者
委員	藤原 真理	チェリスト

事業運営委員

委員長	川本 統脩	洗足学園音楽大学講師
委員	小倉 多美子	音楽ジャーナリスト、武蔵野音楽大学講師
委員	金子 建志	音楽評論家、東京理科大学講師
委員	齋藤 一郎	東京藝術大学名誉教授
委員	柴田 俊一	音楽プロデューサー、元 NHK プロデューサー

日本音楽財団の保有楽器概要

(2021年3月31日現在)

Stradivarius "Paganini Quartet" 「パガニーニ・クアルテット」

1680年製 Violin 1727年製 Violin

1731年製 Viola 1736年製 Cello

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその一つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

1994年2月に当財団はアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti" 「ドラゴネッティ」

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なイタリアのコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前で呼ばれている。当財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツインマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands" 「ロード・ニューランズ」

イギリスのニューランズ卿(1825～1906)によって生涯大切にされていたため、現在この名前で呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年に英国バースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガアルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins" 「ハギンス」

このヴァイオリンは、1870年代後半にフランスからウィーンにもたらされ、1882年頃、イギリスの天文学者ウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。色艶も鮮やかで保存状態に優れている。当財団は

1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1709 年製 Violin "Engleman" 「エングルマン」

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エングルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1710 年製 Violin "Camposelice" 「カンポセリーチェ」

このヴァイオリンは、1880年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。1937年には、クレモナ古楽器名器展に当時この楽器を所有していたキューネ博士のコレクションとして展示された。当財団が購入する前は、30年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていた。

2004年9月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1714 年製 Violin "Dolphin" 「ドルフィン」

1800年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスと華麗な見栄えが、優美なイルカが光り輝いている様を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715年製「アロード」、1716年製「メシア」に並ぶストラディヴァリウスの三大名器の一つとされている。また、巨匠ヤッシャ・ハイフェッツ(1901～1987)が愛用していたことでも知られている。

2000年2月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1715 年製 Violin "Joachim" 「ヨアヒム」

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907)が所有していたストラディヴァリウス1715年製ヴァイオリン3挺の内の1つである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・ダラーニ(d'Aranyi)に遺贈されたことから「ヨアヒム=アラーニ」という名前でも知られている。当財団が購入するまでは、アディラの遺族によって代々受け継がれてきた。

2000年9月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1716 年製 Violin "Booth" 「ブース」

1855年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した2人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミッシェル・ミシヤコフ(1896～1981)の手にわたり、1961年にはニューヨークのヘンリー・ホッティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999年1月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1717 年製 Violin "Sasserno" 「サセルノ」

1845年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894年には、イギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906年にはイギリスのヘンリー・サマーズが所有し、それ以後93年間にわたり同家で大切に保管されてきたため、製作時のままのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999年5月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1722 年製 Violin "Jupiter" 「ジュピター」

このヴァイオリンは、1800年頃にイギリスの収集家ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナルのニスも全体に残っている。

1998年5月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1725 年製 Violin "Wilhelmj" 「ウィルヘルミ」

1866年以降、約30年間この楽器を所有していたドイツの著名なヴァイオリン奏者、アウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者としてベストなうちに引退したい」との理由で、50代の若さで楽器を手放したという。

2001年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1735年製 Violin "Samazeuilh" 「サマズィユ」

この楽器は1836年、楽器商のタリシオによってイタリアからフランスへ持ち込まれ、一時リヨンのシャポネー伯爵が所有していた。しかし、19世紀の終わりにロンドンのヒル商会の手に渡り、1901年、ヴァイオリニストのアーサー・ハートマン(1881～1956)へ売却された。1903年にはサマズィユ家が購入し、所有していたことから「サマズィユ」と呼ばれている。1923年に楽器を所有することになったヴァイオリンの巨匠ミッシェル・エルマン(1891～1967)は「ストラディヴァリウスの中で最高の音色を持つ楽器の1つ」と1926年に手紙に記している。楽器の内側のラベルには91歳(製作者の年齢)と書か

れている。

2017年8月に当財団が岡本夫妻の寄付と日本財団からの助成を合わせて購入したものである。

Stradivarius 1736 年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」

楽器の内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92 (92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスに楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国バーミンガムの有名な収集家でアマチュアのヴァイオリン奏者のH.M.ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器の一つとして知られている。

1997年7月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1696 年製 Cello "Lord Aylesford" 「ロード・アイレスフォード」

イギリスのアマチュア奏者アイレスフォード卿が1780年代初期にイタリアの名高い音楽家のフェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約100年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946年にはアメリカ・フィラデルフィア在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950年から1965年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や35枚のレコーディングのために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1730 年製 Cello "Feuermann" 「フォイアマン」

アントニオ・ストラディヴァリが製作したうち、現存するチェロは、約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点の特徴である。世界的に著名なチェロ奏者、エマヌエル・フォイアマン(1902～1942)が1939年から長年にわたり使用したことから、この名前と呼ばれている。エマヌエル・フォイアマンは、斎藤秀雄(1902～1974)の師として日本でもよく知られている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

Guarneri del Gesu 1736 年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・ガアルネリ(ガアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。1736年製のストラディヴァイオリンも所有していたイギリスのアマチュア奏者で収集家のムンツが一時期所有していたことから、この名前が親しまれている。

1995年3月に当財団が購入したものである。

Guarneri del Gesu 1740 年製 Violin "Ysaye" 「イザイ」

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中に貼られた小さなラベルには赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれ、イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進したことも知られている。1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり生涯愛用した。

1998年3月に当財団が購入したものである。

以上、当財団はストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、ストラディヴァリウス・チェロ3挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ1挺、ガルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺の合計21挺の弦楽器を保有している。

楽器名と被貸与者一覧

別紙 4

2021年3月31日現在

楽器名	被貸与者	備考
貸与区分A(貸与期間満7年以内)、B(貸与期間満3年以内)、貸与期間1年以上(旧長期貸与)		
	Stradivarius "Paganini Quartet"	Goldmund Quartet
1	1680年製 Violin "Paganini"	Pinchas Adt (Mr) ミュンヘン在住 貸与区分A
2	1727年製 Violin "Paganini"	Florian Schötz (Mr) ゲルツフルク(ドイツ)在住 貸与区分A
3	1731年製 Viola "Paganini"	Christoph Vandory (Mr) ミュンヘン在住 貸与区分A
4	1736年製 Cello "Paganini"	Raphael Paratore (Mr) ミュンヘン在住 貸与区分A
5	Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti"	Veronika Eberle (Ms) ベルリン在住
6	Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands"	Suyoen Kim (Ms) ベルリン在住
7	Stradivarius 1709年製 Violin "Engleman"※	Benjamin Beilman (Mr) ニューヨーク在住
8	Stradivarius 1710年製 Violin "Camposelice"	Svetlin Roussev (Mr) ジュネーブ在住 2012/1/15よりJoachim貸与 2012/2/8 よりCamposelice貸与
9	Stradivarius 1715年製 Violin "Joachim"※	Angelo Xiang Yu (Mr) ボストン在住 貸与区分A
10	Stradivarius 1716年製 Violin "Booth"	Arabella Miho Steinbacher (Ms) ウィーン在住 2005/5/6よりStrad. Muntz貸与 2006/9/4よりBooth貸与
11	Stradivarius 1717年製 Violin "Sasserno"	Ji Young Lim (Ms) ベルリン在住 2015年エリザベートコンクール優勝者Huggins貸与 (2015/6/2-2019/3/28) 2019/3/28よりSasserno貸与
12	Stradivarius 1722年製 Violin "Jupiter"※	五嶋 龍 (Mr) ニューヨーク在住
13	Stradivarius 1735年製 Violin "Samazeuilh"※	Ray Chen (Mr) フライデルフイア在住 2009年エリザベートコンクール優勝者Huggins貸与 (2009/6/2-2010/9/8) 2012/4/11よりLord Newlands貸与 2014/6/19よりJoachim貸与 2019/10/23よりSamazeuilh貸与
14	Stradivarius 1736年製 Violin "Muntz"	Yuki Manuela Janke (Ms) ハゼルハッハタール(ドイツ)在住
15	Stradivarius 1696年製 Cello "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández (Mr) トレドネス(スペイン)在住
16	Stradivarius 1730年製 Cello "Feuermann"	Camille Thomas (Ms) パリ在住 貸与区分A
17	Guarneri del Gesu 1736年製 Violin "Muntz"	María Dueñas (Ms) ウィーン在住 貸与区分A
18	Guarneri del Gesu 1740年製 Violin "Ysaye"	Sergey Khachatryan (Mr) エッショホルン(ドイツ)在住 2005年エリザベートコンクール優勝者Huggins貸与 2009/4/7よりLord Newlands貸与 2010/10/27よりYsaye貸与
貸与区分C (貸与期間満1年以内)		
19	Stradivarius 1725年製 Violin "Wilhelmj"	大谷康子 (Ms) 東京在住 45周年記念コンサートツアーのため
貸与区分D(ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者への次期コンクール開催までの貸与)		
20	Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins"※	Stella Chen (Ms) ニューヨーク在住 2019年エリザベートコンクール優勝者
長期貸与終了後保管中		
21	Stradivarius 1714年製 Violin "Dolphin"	コロナ禍で貸与開始時期を見合わせ中

※印の楽器は、コロナ禍においてATAカルネの更新ができないため、貸与を中断し財団内楽器庫で保管中(5挺)

長期:旧長期貸与並びに区分A, B 18挺、短期:区分C 1挺、コンクール:区分D 1挺、貸与終了後保管中1挺 保有楽器 計21挺

上記のとおり 2020 年度事業報告書及び附属明細書を提出いたします。

2021(令和3)年6月2日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 海 老 沢 勝 二 (印)

2020 年度事業報告書及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2021(令和3)年6月2日

監 事 垣 見 隆 (印)

監 事 吉 村 貞 彦 (印)